

オルテガ・アミーラ・パラル研究員（フィリピン）

はじめまして。私はフィリピンから来ました、オルテガ・アミーラ・パラルと申します。私は、2009 年からフィリピンの民間防衛室（OCD: Office of Civil Defence, Department of National Defence）で民間防衛官として働いています。以前は、避難訓練の運営や、政府団体・NGO・地方及び国際関係機関と連動した、防災関連の業務の実施などに、チーフとして携わってきました。また、実際の災害時における緊急対応時においては、被災地における支援物資の調整、物資運搬に伴う輸送経路の確保なども対応してきました。あわせて、被災地の情報を取りまとめる災害状況報告を整理し、フィリピン国家災害リスク削減委員会（NDRRMC: National Disaster Risk Reduction and Management Council）の警報チームのリーダーとしても従事していました。



現在は、フィリピン中部ルソン地方に位置する、サンフェルナンドにおいて、民間防衛室のオペレーションセンターのチーフとして働いています。フィリピンでは、地域レベルでは民間防衛室の局長が、地方災害リスク削減委員会（RDRRMC: Regional Disaster Risk Reduction and Management Council）の議長としても、役割を担当しています。民間防衛室が対応するエリアはとても広域で、7つの州と中央ルソン、2つの都市部をカバーしています。このオフィスでは、私は災害の緊急対応時において、社会福祉開発省（DSWD: Department of Social Welfare and Development）の副議長との連絡役として従事しています。

最後に、今回客員研究員としての機会を頂いた ADRC、日本政府に感謝を申し上げます。ADRC に着任中、私の希望する研究テーマ、「日本とフィリピンにおけるダム機能と安全性に関する比較研究」について取り組み、ブラカン州の住民の方々、民間防衛室、NDRRMC の防災に貢献したいと思います。